

## 農林業から町の活性化は

町長／地域資源の有効活用を図る



川口憲男議員

川口 町内に豊富にある山林、広葉樹林、竹林の資源を活かすことは、地場産業の高揚や環境への貢献、そして農林業生産者にも活力を与え、元気な地域づくりの一政策となりうる。町独自の政策を講じて財政的にも農林業の活性化の考えはないか。

町長 町内山林、中でも里山に豊富にある広葉樹林や竹林を活かすことは、山林所有者のみならず、地域や町に活性化をもたらすと考えます。

マニフェストの中に「4本柱の戦略宣言」の一つとして「元気な農林、商工業のまち宣言」を掲げ、町内にある森林管理署や北薩森林組合など、関係機関と連携協力しながら個性あふれる本町の森林資源など、地域資源の有効活用を図っていきます。



町面積の約7割を占める山林

## 農業振興

唯一の採種ほ団地を守れ

町長／採種ほ生産組合を支援



新改幸一議員

新改 県内唯一の普通期米採種ほ団地で、50年の歴史を持つ中津川採種生産組合に行政としてのどのような支援を考えているか。

町長 中津川採種生産組合は、昭和33年より始まり現在に至っております。平成20年度に乾燥調整貯蔵施設の整備を行った経緯もあり、今後も継続して出来る限りの支援をいたします。また種子更新に対する助成金は、次の段階で考えてまいります。



乾燥調整貯蔵施設

仔牛購買者増加対策は

町長／魅力ある産地づくり優先

新改 薩摩中央家畜市場の仔牛セリ市に参加される購買者で町内に宿泊される方々へ購買者増加対策として宿泊助成は考えられないか。

町長 本町は優秀な種雄牛に恵まれ、全国有数の市場となっております。

購買者への宿泊助成については、私も公約に入れておりましたが、景気後退による牛肉の消費低迷等で畜産経営は厳しい状況であります。畜産農家支援策を最重点として購買者宿泊助成は今後の課題として考えます。